

【研究課題】呼吸器疾患における臨床評価を通じた呼吸リハビリテーションに関する研究

① 対象

2020年3月31日までに当院呼吸器外科および呼吸器内科(現呼吸器センター)から依頼され、リハビリ医指示のもと呼吸リハを施行した患者

② 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション部

③ 目的

呼吸リハビリテーション(以下、呼吸リハ)とは、呼吸器の病気によって生じた障害を持つ患者に対して、可能な限り機能を回復、あるいは維持させ、これにより、患者自身が自立できるように継続的に支援していくための医療のことです。呼吸リハの効果は主に慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する呼吸リハ介入の報告がその根拠とされており、他の呼吸器疾患に対する呼吸リハでも近年エビデンスが蓄積されつつあるものの、さらなる成果が求められています。リハビリテーション部ではCOPDの他、間質性肺炎、肺移植適応疾患で重症呼吸不全を呈する患者、さらには肺がんや肺移植手術前後の患者等に対して呼吸リハを提供しております。本研究は、これら呼吸器疾患患者に対する呼吸リハ介入時の臨床評価やその変化の検討を通じて、呼吸リハにおける問題点を把握し、その介入効果を検討することを目的としています。

④ 方法

当部において呼吸リハを施行した呼吸器疾患患者を対象に、日常診療で実施しているリハビリ評価を定期的に行います。それら検査・評価結果と電子カルテから得られた診療情報とを統合し対象者の障害像を把握することで、呼吸リハ介入の問題点や呼吸リハ介入効果の検討を進めます。

⑤ 意義

本検討によって、COPD患者のみならず他の呼吸器疾患においても、呼吸リハの質的改善や、新たな呼吸リハ介入方法の構築に必要な視点を提供可能であり、今後の呼吸リハ診療にとって有用と考えます。

⑥個人情報の取り扱い

本研究で得られた成果は学会等で公表されることがあります。その場合、対象者の個人

情報は外部から特定できないように厳重に管理されます。

⑦ 問合せ先

大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号

⑧ 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法

研究対象者に該当する方は、呼吸リハビリテーションの担当医師・療法士を通じて、データの使用を拒否することができます。